

## 教育長定例記者会見

日時：令和3年1月20日（水）14：00～

場所：教育委員会室

### <広報事項>

○令和3年1月－2月の広報事項<教育委員会>

..... 2

### <話題提供>

○琵琶湖博物館での学習船「うみのこ」の常設展示オープンについて

..... 4

### <学校現場の取組紹介>

○県立甲南高等養護学校

..... 6

## 令和3年1月～2月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場 参加料（有料・無料の別）・事前申込の有無等	所属 （課名、室名、 機関名、学校 名）	問い合わせ先 （担当者名、電 話・内線番号）
① 学校行事、募集等				
1月27日（水） 14:00～14:30	滋賀県インクルーシブ教育賞表彰式	障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒を表彰することを通して、共に学び共に生きる児童生徒の心を育むとともに県民のインクルーシブ教育や共生社会に対する理解促進を図ります。 ・場所：草津市立南笠東小学校 ・受賞者：草津市立南笠東小学校	特別支援教育課	榎森 恭史 077-528-4643 （内線4643）
1月29日（金） 15:40～16:00	滋賀県インクルーシブ教育賞表彰式	障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒を表彰することを通して、共に学び共に生きる児童生徒の心を育むとともに県民のインクルーシブ教育や共生社会に対する理解促進を図ります。 ・場所：彦根市立稲枝中学校 ・受賞者：彦根市立稲枝中学校	特別支援教育課	榎森 恭史 077-528-4643 （内線4643）
2月1日（月） 10:00～10:50	京都大学、内田洋行と滋賀県教育委員会の連携協定調印式	滋賀県立高等学校においてA Iによるスタディログの分析を活用した学習支援の実証研究～「『説明できるA I』実証研究」～実施に関する京都大学、内田洋行と滋賀県教育委員会の連携協定調印式を開催します。 ・会場：滋賀県公館ゲストルーム	高校教育課 教育力向上係	御厨 篤志 077-528-4575 （内線4575）
2月3日（水）～2月7日（日） 9:00～17:00 *7日（日）は15:00まで	信楽高校習作展	授業で取り組んだ全校生徒渾身の作品を展示します。3年生にとっては最後の作品展示となります。 ・会場：あいごうか市民ホール ・観覧料：無料 ・事前申込：不要	県立信楽高等学校	山崎 真理 0748-82-0167
2月11日（木・祝） 9:00～15:10	「湖の子」体験航海	今年度、または昨年度にフローティングスクールに参加できなかった児童および途中乗下船した児童を対象にした、学習船「うみのこ」での1日航海を実施します。 ・場所：学習船「うみのこ」 ・航路：大津港発－堅田沖－沖島水道－大津港着（10:35）（11:25頃）（13:00頃）（15:05） ・内容：南湖の展望、沖島の展望、生き物の観察等	びわ湖フローティングスクール	中瀬 真一 077-524-8225
2月15日（月） 13:45～17:00	日野高カフェ	日野高校で「商品開発販売実習」を選択している生徒が、地域の人のふれあいと、商品開発、原価計算などを学ぶことを目的にカフェを運営します。 ・会場：日野駅舎内「なないろ」	県立日野高等学校	神崎 善明 0748-52-1200
2月19日（金） 9:10～12:00	令和2年度滋賀県立彦根東高等学校スーパーサイエンスハイスクール研究発表会	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の一環として、2年生SSクラスの生徒が、1年間かけてグループで取り組んできた（※）課題研究を発表します。さらに、発表後、質疑応答を通して、研究の深化をはかります。 ・会場：滋賀県立文化産業交流会館 小劇場 ・参加料：無料 ・事前申込：不要 （※）今年度 SSH生徒研究発表会において本校3年生の数学グループの研究発表「“自然数の累乗和”の累乗公式～図形の入れ子構造を利用した公式生成アルゴリズム～」が科学技術振興機構理事長賞（全国第2位相当）を受賞しています。	県立彦根東高等学校	北村 登志子 0749-22-4800
2月22日（月） 14:30～14:50	令和2年度「湖の子」終航式	令和2年度児童学習航海を終了するにあたり、学習船「うみのこ」およびお世話になった方々に感謝の気持ちを表します。 ・日時：令和3年2月22日（月）14:30～14:50（第8回児童学習航海終了時・琵琶湖大橋港着船後） ・場所：道の駅 琵琶湖大橋米プラザ 芝生広場（雨天時：学習船「うみのこ」船内 多目的室および学習室兼食堂（琵琶湖大橋港係留中） ・参加校：大津市立堅田小学校 大津市立坂本小学校	びわ湖フローティングスクール	中瀬 真一 077-524-8225

## 令和3年1月～2月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場 参加料（有料・無料の別）・事前申込の有無等	所属 （課名、室名、 機関名、学校 名）	問い合わせ先 （担当者名、電 話・内線番号）
② 研修・会議等				
1月22日(金) 13:30～16:30	令和2年度 学校を核とした 地域力強化プラン 事業成果報告 会	各市町における取組事例の発表や講演を通じて、地域学校協働活動のさらなる展開やコミュニティ・スクールとの一体的な推進に向けて、今後の方策や地域と学校の在り方について、ともに学ぶ機会としてオンデマンド配信により実施します。 ・参加費：無料 ・事前申込：必要(受付終了) ※事前申込者への限定配信	生涯学習課	藤本 聡子 077-528-4654 (内線4654)
1月27日(水) ～29日(金)	令和2年度 図書館地区別研 修(近畿地区) の開催について	情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とした研修を開催します。 ・Zoomによるオンライン配信のみ ・参加費：無料 ・事前申込：必要(受付終了)	生涯学習課 図書館	生涯学習課 石田 万貴 077-528-4652 (内線4652) 図書館 脇坂 さおり 077-548-9691
1月29日(金) 13:30～16:25	令和2年度家庭 教育支援実践交 流会	各地域で家庭教育支援活動に取り組む人材等が集まり、家庭教育支援活動の現状や推進・人材確保方策等について学び、情報交換や情報共有をすることで、県内家庭教育支援活動のさらなる充実を図る機会として開催します。 ・会場：近江八幡市勤労者センター多目的ホール ・参加費：無料 ・事前申込：必要(定員70名)	生涯学習課	川口 朋也 077-528-4654 (内線4654)
2月5日(金) 13:30～16:30	令和2年度しが 子ども体験活動 実践交流会	子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関・団体の企画運営担当者等を対象に、講演等を通して、青少年の体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進する機会としてオンデマンド配信により実施します。 ・参加費：無料 ・事前申込：必要 ※事前申込者への限定配信	生涯学習課 子ども・青年 局	生涯学習課 藤本 聡子 077-528-4654 (内線4654) 子ども・青少年局 山本 千香子 077-528-3561 (内線3561)
2月5日(金) 15:00～17:00	第5回総合教育 会議	総合教育会議は、知事と教育委員会が協議・調整することにより、教育政策の方向性を共有するものです。 ・場所：県庁北新館5-B会議室 ・議題：(1)幼児教育と小学校教育の連携・接続について (2)令和2年度滋賀県総合教育会議の総括について	教育総務課	大橋 雄一 077-528-4512 (内線4512)
2月12日(火) 13:30～15:10	第7回ふれあい 教育対談	県教育委員が県内の学校や教育関係機関等を訪問し、子どもたちの学習状況や施設等を視察するとともに、関係者の皆さんとの対談を通して、地域の教育事情を把握します。 ・会 場：長浜市立虎姫学園 ・テーマ「小中一貫教育の在り方について」	教育総務課	森野 浩史 077-528-4512 (内線4512)
2月12日(金) ～2月28日 (日)	滋賀県総合教育 センター創立50 周年記念 令和2年度第63 回研究発表大会 (オンライン開 催)	「子どもの学びに向かう力を育むために」をテーマとして、第63回研究発表大会を開催します。 ・開催方法：オンライン開催(オンデマンド配信) ・参加料：無料 ・事前申込：不要 ・対 象：教育関係者 総合教育センターホームページから視聴できます。 <a href="https://www.shiga-ec.ed.jp/">https://www.shiga-ec.ed.jp/</a>	滋賀県総合教 育センター	三木 崇史 077-588-2511
2月16日(火) 13:30～16:20	令和2年度子ど も読書ボラン ティア研修会	県内各地域の読み聞かせボランティアの方や公共図書館および行政関係者等が一堂に会し、家庭における読書習慣の定着と読み聞かせによる親子のふれあいの重要性や、読書ボランティアの資質向上について、絵本専門士の石橋 幸子さんによる講演等を通して広く学ぶ機会とします。 ・会場：県立男女共同参画センター(G-NETしが)大ホール ・参加費：無料 ・事前申込：必要	生涯学習課	小杉 直樹 077-528-4654 (内線4654)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載している催し物が中止・延期になる可能性があります。事前にお問い合わせください。

## 琵琶湖博物館にて学習船「うみのこ」の 常設展示がオープンします

滋賀県では県内すべての小学5年生を対象に、学習船「うみのこ」を使った湖上宿泊体験型教育を展開しています。1泊2日の航海でびわ湖の環境や寄港地の歴史・文化などを学ぶことで、環境に主体的に関わる力や人と豊かに関わる力を育むことを目指しています。

昭和58年の就航から多くの方々に愛されてきた初代「うみのこ」は老朽化のために引退し、平成30年からは名前をそのまま引き継いだ、新しい「うみのこ」が運航開始し、子どもたちの学びの場として活躍しています。

県民の方々には、その時々のおもいや体験、乗船のおもい出などを語り、世代を越えて共有していただき、また県外の方には全国に類を見ない学習船「うみのこ」での学習を知っていただける機会として学習船「うみのこ」の展示を企画しました。

### (1) オープンの日

- 令和3年1月26日(火)

### (2) 学習船「うみのこ」展示の場所

- 琵琶湖博物館2階の2ヶ所  
(A展示室入り口横と休憩コーナー)

### (3) 展示内容

- 別紙のとおり

### (4) 地域活性化包括連携協定を利用した取り組み

- (株)セブン-イレブン・ジャパンによる「うみのこカレー」の発売(1月26日から県内・期間限定)

滋賀県と(株)セブン-イレブン・ジャパンが連携し、学習船「うみのこ」の常設展示のオープンに合わせて「うみのこカレー」を企画しました。カレーを食べながら「うみのこ」のおもい出を家族、友人、職場等で語り合い、博物館の展示も見に来てもらいたい、みんなで「うみのこ」を応援しようという思いを込めています。



# 学習船「うみのこ」の常設展示

【オープン日】 令和3年1月26日(火)

【展示場所】 琵琶湖博物館2階の2ヶ所(A展示室入り口横と休憩コーナー)

【コンセプト】 ①船で学んだ思い出を世代を越えて共有する場

②滋賀県ならではの湖上宿泊体験型教育の取組を発信する場

## (1)A展示室入り口横

～びわ湖フローティングスクールの活動を年表や映像で紹介しています～



【見どころ】

①大型モニターで映す学習船「うみのこ」の映像は迫力いっぱいです。

②初代「うみのこ」のカッター活動で使われていたオールや、甲板掃除のときに使われていたヤシの実を展示しています。

「あのとき、たくさん友だちができたな」「うみのこ」ってこんな活動をするんだ!」、そんな声が聞こえる場所として企画しました。

## (2)休憩コーナー

～子どもたちがどのようなことを学んでいるのか紹介しています～



【見どころ】

①コーナー全体で学習船「うみのこ」が体感できます。

★舵輪の前からは船の先頭から見える映像を、船の窓を模したモニターでは子どもたちの学習の様子や過去のうみのこの映像を紹介。

★天井からは乗船する学校の校旗を一堂に展示。

★ぐるっと見渡すと左右壁はフローティングスクール活動で巡る風景の写真を展示。

②子どもたちが乗船後に作った「湖の子」新聞を展示しています。子どもたちがどんなことを感じ学んでいるのかが分かります。

【ここもぜひ!!】

★展示2ヶ所の壁と休憩コーナーの椅子の座面は、初代「うみのこ」の甲板の板を再利用しています。あなたが歩いたあの場所かも。(椅子は、彦根工業、八幡工業、安曇川高校の生徒が製作しました。)

★学習船「うみのこ」に寄せる思いを募集しています。休憩コーナーに投稿先の案内(QRコード)があるので、ぜひ投稿してください。投稿いただいた感想は、期間において、この場所で紹介させていただきます。



学校の概要 / 特色ある取組

甲南高等養護学校は、今年創立14年目を迎える知的障害特別支援学校です。生徒の職業的・社会的自立に向けて必要な基礎的な知識・技能・態度を育成すること、社会人として生活していくために必要な人間関係を築く力を育てることを目標としています。3年前に普通科から『しごと総合科』に改編し、入学当初から作業実習、職場体験実習等を計画的に組み入れた教育活動を行い、本人の適性に合わせた進路実現を目指しています。

本校は甲南高等学校に併設されており、両校の生徒が共に学び・共に励み・共に磨き・共に生きる、ノーマライゼーションの理念を基盤とした学校づくりをめざし、校章、校歌、校訓、制服を同一にし、委員会活動、体育祭や文化祭などの学校行事を共同開催しています。また、職業高校として伝統のある甲南高等学校の施設・設備を活用することで専門的な学習を行うことも可能です。

本校では生徒の意欲的な学びの姿勢を育むため、日本漢字能力検定、実用数学技能検定、ビジネス文書実務検定、ビジネス点字検定などの様々な検定に取り組んでいます。令和2年12月には、「実用数学技能検定グランプリ奨励賞」を受賞しました。この賞は実用数学技能検定を継続して活用し効果的な学習効果を挙げた団体に対して贈呈されるものです。本校は平成26年度より今年度まで、毎年1回以上の団体受検(4～9名)を行っており、各回2～7名が受検した級に合格しています。

卒業生の進路状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
企業・事業所 (就労継続A型を含む)	22名	21名	19名
訓練施設等	1名	—	1名
その他	—	—	2名
在籍者数	23名	21名	22名

教育課程

2年生からは農業ものづくりコースと福祉くらしコースに分かれて学習します。

◇農業ものづくりコース ～自然の中で育む～

「共に働き、新しい自分の可能性を発見する」ことをめざして、農業を中心として作物の栽培や家畜などの飼育を行い、収穫した野菜などを加工し、製品化して販売する学習に取り組んでいます。

◇福祉くらしコース ～よりよい家庭生活を目指して～

「自立し、共に生きる生活を創造する」ことをめざして、介護体験や、服飾・調理・掃除・洗濯・縫い物などの「衣食住」における基礎的・基本的な生活に関わる学習に取り組んでいます。

放課後活動

普段の授業以外には、次に示す本校独自の放課後活動や甲南高等学校との合同部活動を行っています。

○ものづくり部

農作物の収穫と加工、各種木工作品の製作など、いろいろなものを「つくる楽しさ」を感じながら活動しています。さまざまな活動をとおして、地域の皆さんとのつながりが深まりつつあります。

○体力づくり部

屋外ではサッカーやソフトボール、フライングディスクなどを、室内では体力トレーニングやダンスなどを行っています。運動が得意な人も苦手な人も一緒に楽しみながら活動しています。

○ハンドメイド部

校内で飼育している羊の毛を使ったマスコット、ビーズ加工品等の手作り小物の製作をしています。みんなで楽しい時間を過ごします。

◎甲南高等学校との合同部活動

今年度は甲南高等学校のバスケットボール部、テニス部、卓球部、陸上部に合わせて14名が入部して活動しています。



農業 (羊毛加工)



農業ものづくりコース (農業)



福祉くらしコース (福祉)



フライングディスク県大会 [2019]

提供年月日	令和3年(2021年)1月20日	
所属名	特別支援教育課	甲南高等養護学校
担当係・室名	教育指導係	
担当者	指導主事 榎森恭史	副校長 池下克美
内線	4643	
電話	077-528-4643	0748-86-8401